

小笠原諸島及び離島を訪れる観光客に対する意識調査 結果の概要

平成 15年 2月

東 京 都

小笠原諸島の現状の把握 - 意識調査結果概要 -

調査の実施概要

(1) 小笠原諸島来島者意識調査

調査の対象：観光目的の小笠原諸島（父島・母島）来島者。

調査の方法：宿泊施設において調査票を配布し、客船待合室にて回収。

調査実施日：平成14年9月5日～平成14年9月30日。

回収結果：

調査地点	配布	回収		有効回収	
	調査票	調査票	回収率	調査票	回収率
小笠原(父島)	700	350	50.0	350	50.0
小笠原(母島)	300	150	50.0	146	48.7
合計	1,000	500	50.0	496	49.6

(2) 離島来島者意識調査

調査の対象：沖縄本島・西表島（沖縄県）佐渡島（新潟県）礼文島（北海道）屋久島（鹿児島県）来島者。

調査の方法：宿泊施設のフロントにおいて調査票を配布・回収。ただし、沖縄本島においては、那覇市内観光地において調査員による街頭ヒアリングも併せて実施。

調査実施日：平成14年9月1日～平成14年10月6日。

回収結果：

調査地点	配布	回収		有効回収	
	調査票	調査票	回収率	調査票	回収率
礼文島(北海道)	1,000	396	39.6	346	34.6
佐渡島(新潟県)	1,600	590	36.9	514	32.1
屋久島(鹿児島県)	1,000	400	40.0	354	35.4
西表島(沖縄県)	1,000	380	38.0	301	30.1
沖縄本島	400	147	36.8	126	31.5
合計	5,000	1,913	38.3	1,641	32.8

意識調査全体の回収結果：調査全体の回収率は40.2%（有効回収率35.6%）である。

	配布	回収		有効回収	
	調査票	調査票	回収率	調査票	回収率
全体の合計	6,000	2,413	40.2	2,137	35.6

調査結果の概要

小笠原諸島来訪者の属性

回答者の年齢は若い世代が多く、20歳代、30歳代で3/4近くを占める。
回答者の性別は「男性」「女性」がほぼ半数づつ。
回答者の職業は「会社員」と「学生」がそれぞれ3割を超え、有職者が全体の約半数。
回答者の居住地は「東京都」が4割を超え、それ以外でも「関東地方」がほとんど。

他の離島来訪者の属性

回答者の年齢は20歳代が最も多く3割近くを占めるが、30歳代～60歳代の各年代もそれぞれ1～2割程度。
回答者の性別は「女性」が58.1%、男性が41.5%。
回答者の職業は「会社員」が3割を超え、有職者が全体の約半数。
回答者の居住地は「東京都」が19.7%、「その他」が75.5%で全国各地から来訪。

小笠原諸島来訪者の属性の特性

学生及び20歳代・30歳代の若い世代の来島者が多い
東京都を中心に関東地方からの来訪者がほとんど

小笠原諸島来訪者の旅行形態

回答者の来訪単位は「2人」が最も多く約4割を占める。
「1人」での来訪も26.6%と多い。
来島の主な目的は「観光」57.1%、「ダイビング」27.6%の2項目が多い。
「4人以上」での来島者は、6割以上が「ダイビング」を主な目的に訪れている。
宿泊先は「父島だけ」が61.3%、「母島だけ」が10.7%、「両島」が27.0%。
来訪単位の人数が少ない方が母島に宿泊している人が多い。

他の離島来訪者の旅行形態

回答者の来訪単位は「2人」が41.2%と最も多く、次いで「4人以上」が31.3%。
来島の主な目的は「観光」が77.1%と8割近い。
どの離島においても「観光」が最も多いが、西表島、沖縄本島では「ダイビング」が2割を占める。
30歳代は他の年代に比べ「ダイビング」が多い。

小笠原諸島来訪者の旅行形態の特性

「1人」「2人」の少人数での来訪が多い
ダイビングを目的にした来訪者が多い

小笠原諸島来訪者のリピート状況

リピーターが1/3以上を占める。
男性の方がリピート率が高く、東京都在住の方がよりコアなリピーター。
リピーターの方が「ダイビング」を主な目的にしている人が多い。

他の離島来訪者のリピート状況

来訪経験は「1回目」が約7割。
沖縄本島はリピーターが約6割。
男性の方がリピート率が高い。

小笠原諸島来訪者のリピーターの特性

リピーターは沖縄本島に比べると少ないが、それ以外の離島と比べると多い

小笠原諸島来訪者の旅行選定時の動向

小笠原を旅行先に決定した理由は「目的にあった旅行先だから」「まだ訪れたことがなかったから」。「以前訪れてよかったから」を理由にあげた人は30歳代が多い。

他の旅行先を考えた人は1/4以下。

他に検討した旅行先は「沖縄」をはじめ、離島が多い。

来訪単位が多くなるほど「他の旅行先も考えた」人が少なくなる。

他の離島来訪者の旅行選定時の動向

他の旅行先を考えた人は約1/4。

他に検討した旅行先は「北海道」「沖縄」など。

当該離島を旅行先に決定した理由は「まだ訪れたことがなかったから」45.1%、「目的にあった旅行先だから」32.7%。

西表島、沖縄本島、屋久島は「目的にあった旅行先だから」が、礼文島、佐渡島は「まだ訪れたことがなかったから」が最も多い。

沖縄本島、西表島は「以前訪れてよかったから」が全体結果に比べ多い。

旅行先を決める際のポイントは「自然」「旅行費用」「のんびりできること」。

西表島、屋久島、礼文島では「自然」、沖縄本島、佐渡島では「旅行費用」が最も多い。

「他の旅行先も考えた」人は「考えなかった人」に比べ「旅行費用」「食事」「交通手段」を決定のポイントにした人が多い。

小笠原諸島来訪者の旅行選定の特性

旅行先を選定する時に他の旅行先と比較検討した人が少ない

小笠原諸島来訪者の小笠原に対するイメージ

小笠原諸島の魅力は「青く澄んだ海」が82.9%、「イルカ・クジラ」が62.7%と海に関する2項目が突出。

女性は「青く澄んだ海」「イルカ・クジラ」をあげる人が非常に多く、一方、男性は海に関する項目のほか「都会の雑踏を忘れられること」や「本土から隔離した環境」をあげる人も多い。

来島回数が多くなるほど、海以外の動植物や野山の自然、遠距離にあることを小笠原の魅力とする人が多くなる。

他の離島来訪者からみた小笠原のイメージ

小笠原を「知っていた」人は29.3%と約3割。一方、「まったく知らなかった」は6.9%。

30歳代、40歳代、50歳代の認知度が高く、若年層の認知度が低い傾向。

主な目的が「ダイビング」の人は小笠原を「知っていた」が52.1%と半数以上を占め、認知度が高い。

小笠原に対するイメージは「遠い島」「きれいな海、空」「豊かな自然」。

小笠原を知っている人は「きれいな海、空」のイメージが最も多く、あまり・全く知らない人は「遠い島」のイメージが最も多い。

小笠原諸島のイメージの特性

小笠原は「海」「自然」「遠距離」「のんびり」のイメージ
小笠原の認知度はあまり高いとはいえない

小笠原諸島来訪者の小笠原の評価・満足度

訪れる前に心配していたことは「気候」が29.4%と最も多く、次いで、島への来島手段である船便に関する「船の便数」「航路運賃」の2項目があげられる。「気候」「航路運賃」はリピーターにとっても訪れる前に心配したこと。

訪れて困ったことは「島内の移動手段」が19.4%と最も多いが、「特にない」が34.5%と1/3以上を占める。

良かったと思うことは、父島、母島ともに「自然環境」が最も多く約8割が回答。

悪かったと思うことは、父島、母島ともに「島内交通」であるが、「特にない」がそれぞれ約半数近く。

宿泊施設の満足度をみると、5項目の中では「接客」「食事」の満足度が高い。

特に不満を感じた点はシャワー・浴室・トイレなどの設備に関してが多い。

父島よりも母島の宿泊施設の方が満足度が高い傾向。

小笠原に必要なと思うものは「船の高速化による所要時間の短縮」が44.2%と最も多く、そのほか来島手段の航路に関する項目が上位にあがる。

航路に関する項目以外では「露天風呂」「情報通信の充実」などが望まれている。

男性は来島手段の航路に関する項目が、女性は「露天風呂」をはじめ島内の施設・設備の整備に関する項目が高い傾向。

改善を要すると思うことは、「このまま変わらずに」「自然環境の保護」「これ以上開発しない」といった手を加えない方が良いという意見が多い。

そのほか、航路に関する要望、情報関連の要望、店舗に関する要望が多い。

他の離島来訪者からみた小笠原の評価

小笠原への来訪経験を持つ人は5.9%であり、9割以上が行ったことがない。

当該離島と小笠原を比較すると、「ゆっくりできる」「自然」「街並み」は小笠原の方が評価が高い。一方、「交通アクセス」「宿泊施設」「食事」「観光施設」「島内交通」などの項目は小笠原の方が評価が低い。



小笠原諸島の評価・満足度の特性

小笠原の宿泊施設、島内交通などに対する評価は低い
調査地点の中では「西表島」が同様な近い評価をされている離島

小笠原諸島来訪者の小笠原への再訪・定住意向

9割を超える人が再訪意向を持っている。
もうこない、わからないと思った理由は「来島に時間がかかる」からが多い。
将来、小笠原に住んでみたいと定住意向を持つ人は6割。
年齢が低いほど定住意向が高い傾向。

他の離島来訪者からみた小笠原への来島意向

小笠原への再訪意向を8割以上の方が持つ。
他の離島においてもリピーターの方が小笠原への再訪意向が高い。
小笠原へ「行ってみたいと思う」人は73.5%。
行ってみたいと思わない理由は「情報の不足」「交通アクセスが不便」の2項目が突出。
小笠原へ超高速船が就航した場合、約6割の人が来島意向を持つ。
超高速船が就航した場合、年齢が高くなるほど来島意向を持つ人が増加する傾向。

小笠原諸島への再訪意向の特性

リピート意向は高い
交通アクセスの評価が低く、来島にかかる時間距離は来訪意向を阻害する大きな要因

小笠原諸島来訪者のエコ・ツーリズムへの意向

協定の認知度は「知っている」が28.6%。
エコ・ツーリズムへの関心は「非常に興味がある」が24.8%となっており、「少し興味がある」とあわせると約3/4近くが関心を持つ。
小笠原でのガイド付きツアーへは半数以上の方が参加経験を持つ。
ガイド付きツアーは男性より女性の方が参加経験を持つ人が多い。
参加したことがあるガイド付きツアーは「ドルフィンスイム」「南島上陸」「ホエールウォッチング」人気のガイド付きツアーには「2人」で来訪している人たちの参加率が高い。
ガイド付きツアーの満足度は「大変満足」が67.7%と、「まあまあ満足」とあわせると9割以上の方が満足。
ガイド付きツアーに「参加してみたい」という人は56.5%。
来島回数が増えるほどツアーへの参加意向が高くなる傾向。

他の離島来訪者のエコ・ツーリズムへの意向

協定の認知度は「知らない」が90.7%と9割を超える。
東京都居住者及び小笠原来島経験者の方が協定の認知度が高い傾向。
エコ・ツーリズムへの関心は「非常に興味がある」が16.9%となっており、「少し興味がある」とあわせると約6割の人が関心を持つ。
「西表島」「屋久島」では関心を持つ人が7割を超えているが、「沖縄本島」では関心を持つ人は4割以下。
ガイド付きツアーへは6割近い人が参加経験を持つ。
年齢が高くなるほどガイド付きツアーの参加経験を持つ人が多くなる傾向。
男性より女性の方がガイド付きツアーへの参加経験を持つ人が多い。
ガイド付きツアーの満足度は「まあまあ満足」が48.8%で、「満足」31.3%とあわせると約8割が満足。
ガイド付きツアーに「参加してみたい」という人は55.8%。
年齢の高い方がガイド付きツアーへの参加意向が高い傾向。
男性より女性の方がガイド付きツアーへの参加意向を持つ人が多い。

小笠原諸島来訪者のエコ・ツーリズムへの意向の特性

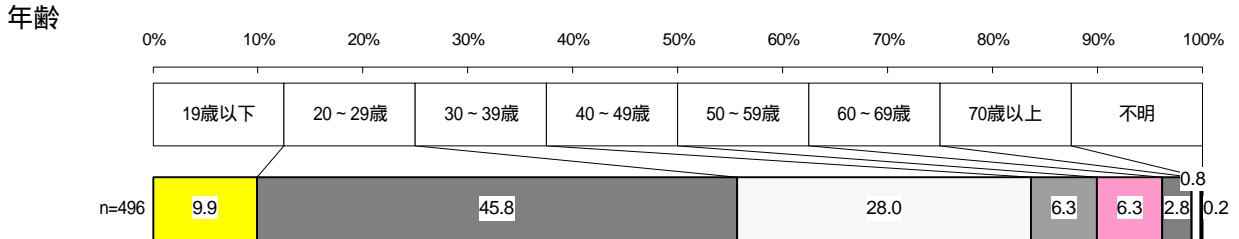
エコ・ツーリズムへの関心は高く、「西表島」「屋久島」来訪者と同程度
小笠原のガイド付きツアーの満足度は高い

意識調査結果の主なもの

調査 小笠原諸島来島者意識調査結果の主なもの

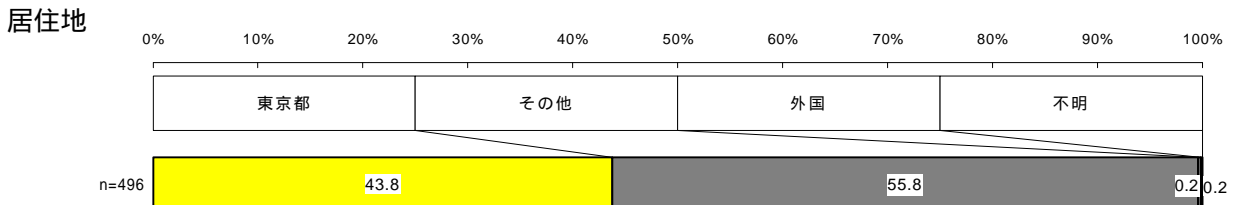
(1) 年齢 (SA)

回答者の年齢は若い世代が多く、20歳代、30歳代で3/4近くを占める。



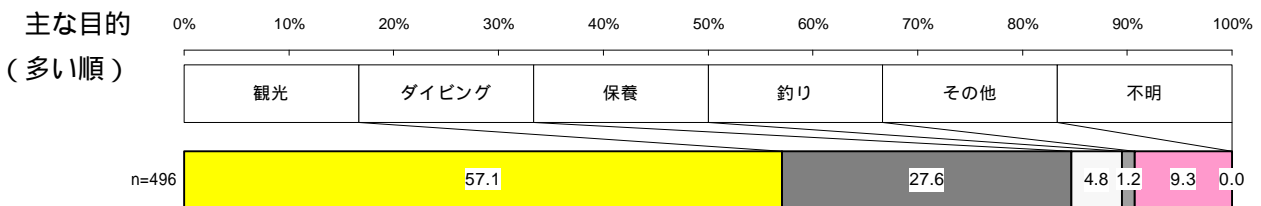
(2) 居住地 (SA)

回答者の居住地は「東京都」が4割を超え、それ以外でも「関東地方」がほとんど。



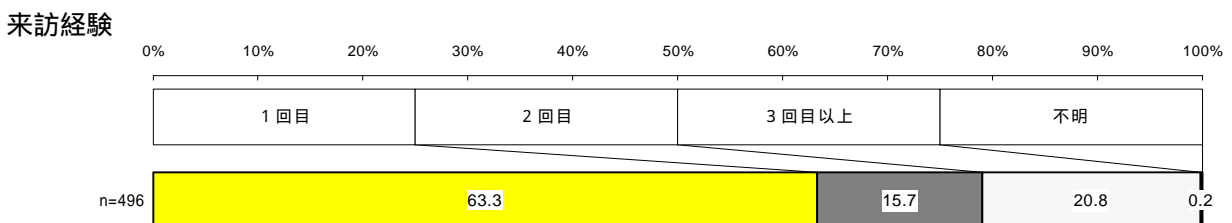
(3) 来島の主な目的 (SA)

来島の主な目的は「観光」57.1%、「ダイビング」27.6%の2項目が多い。
 「4人以上」での来島者は、6割以上が「ダイビング」を主な目的に訪れている。
 リピーターの中では「ダイビング」を主な目的にしている人が多い。



(4) 来訪経験 (SA)

リピーターが1/3以上を占める。
 男性の方がリピート率が高く、東京都在住者の方がよりコアなリピーター。



(5) 小笠原諸島の魅力 (MA)

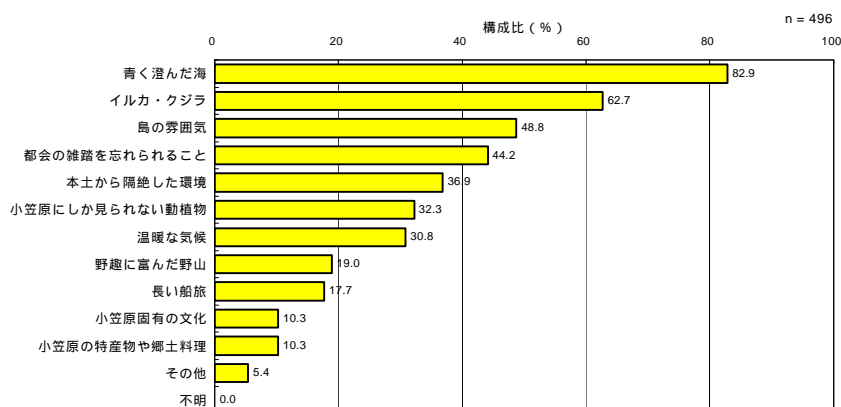
小笠原諸島の魅力は「青く澄んだ海」が82.9%、「イルカ・クジラ」が62.7%と海に関する2項目が突出。

女性は「青く澄んだ海」「イルカ・クジラ」をあげる人が非常に多く、一方、男性は海に関する項目のほか「都会の雑踏を忘れられること」や「本土から隔絶した環境」をあげる人も多い。

来島回数が多くなるほど、海以外の動植物や野山の自然、遠距離にあることを小笠原の魅力とする人が多くなる。

小笠原諸島の魅力

(多い順)



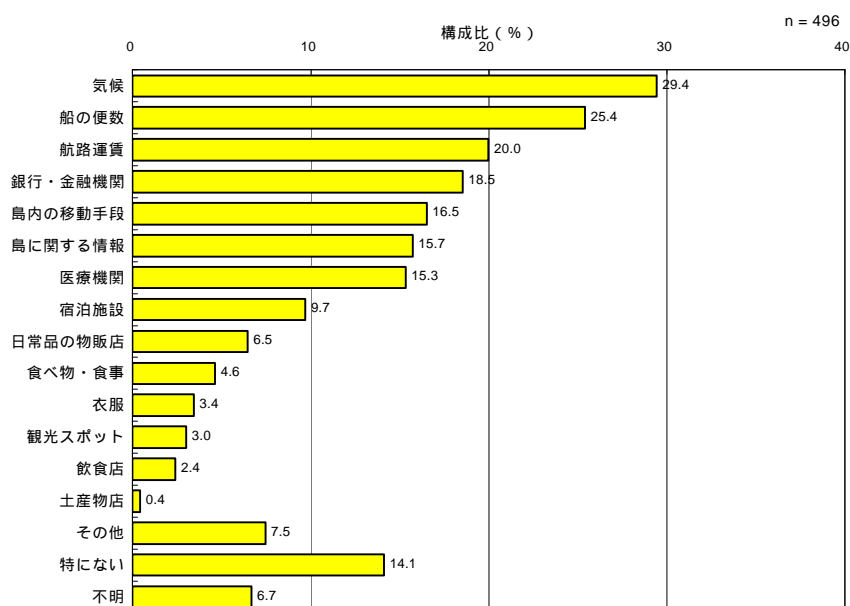
(6) 心配したこと 困ったこと (MA)

訪れる前心配したこと

訪れる前に心配していたことは「気候」が29.4%と最も多く、次いで、島への来島手段である船便に関する「船の便数」「航路運賃」の2項目があげられる。

「気候」「航路運賃」はリピーターにとっても訪れる前に心配したこと。

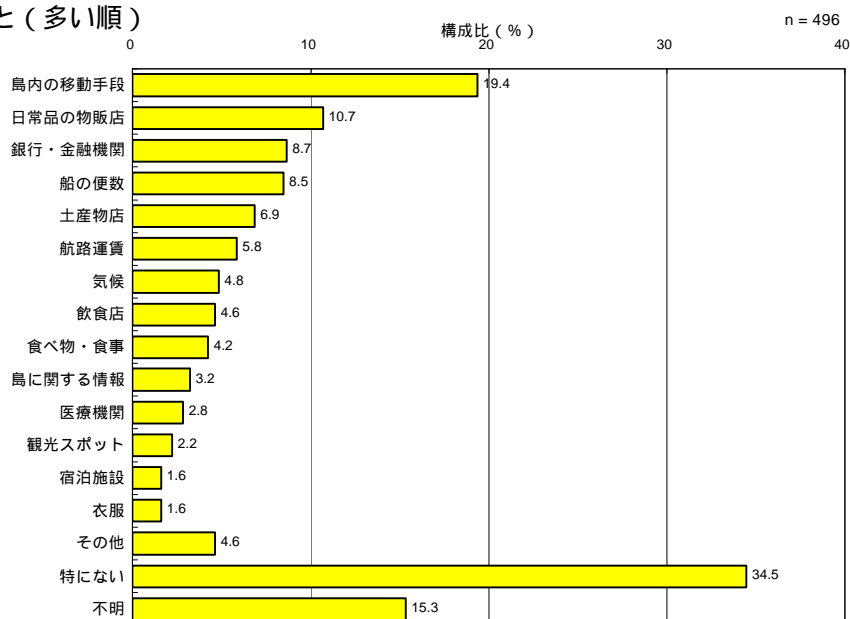
訪れる前心配したこと (多い順)



訪れて困ったこと

訪れて困ったことは「島内の移動手段」が19.4%と最も多いが、「特にない」が34.5%と1/3以上を占める。

訪れて困ったこと（多い順）

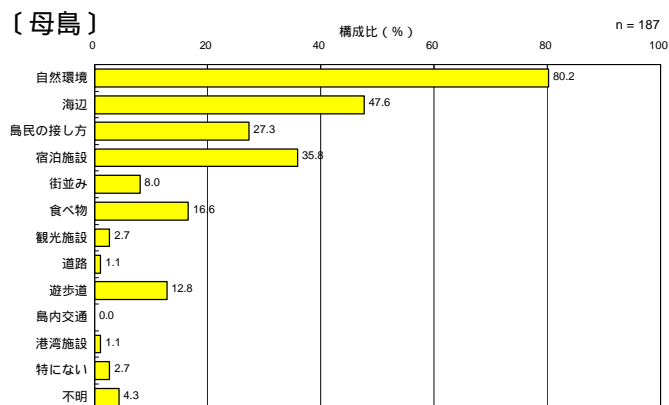
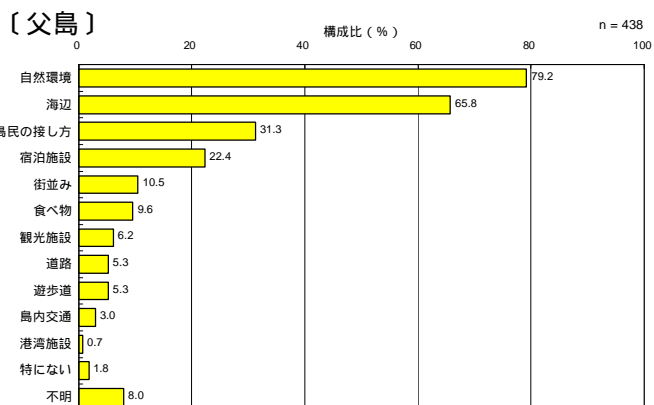


(7) 父島と母島の印象 (MA)

良かったと思うこと

良かったと思うことは、父島、母島ともに「自然環境」が最も多く約8割が回答。

良かったと思うこと（父島で多い順）

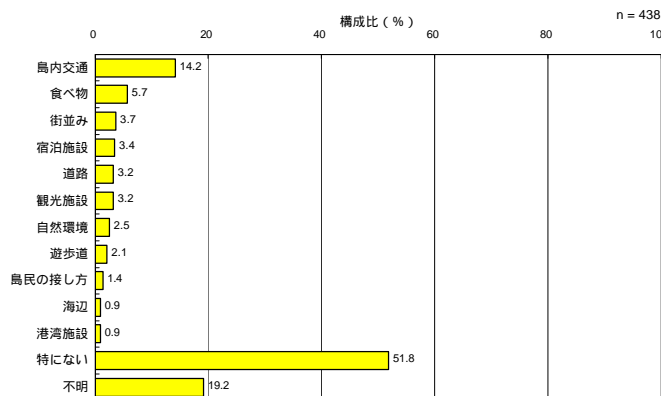


悪かったと思うこと

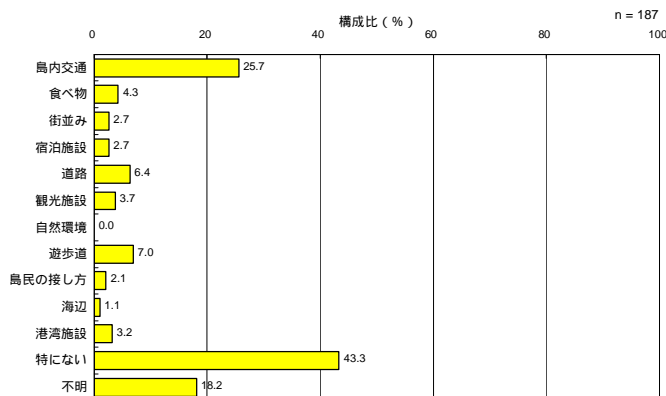
悪かったと思うことは、父島、母島ともに「島内交通」であるが、「特にない」がそれぞれ約半数近く。

悪かったと思うこと（父島で多い順）

〔父島〕



〔母島〕



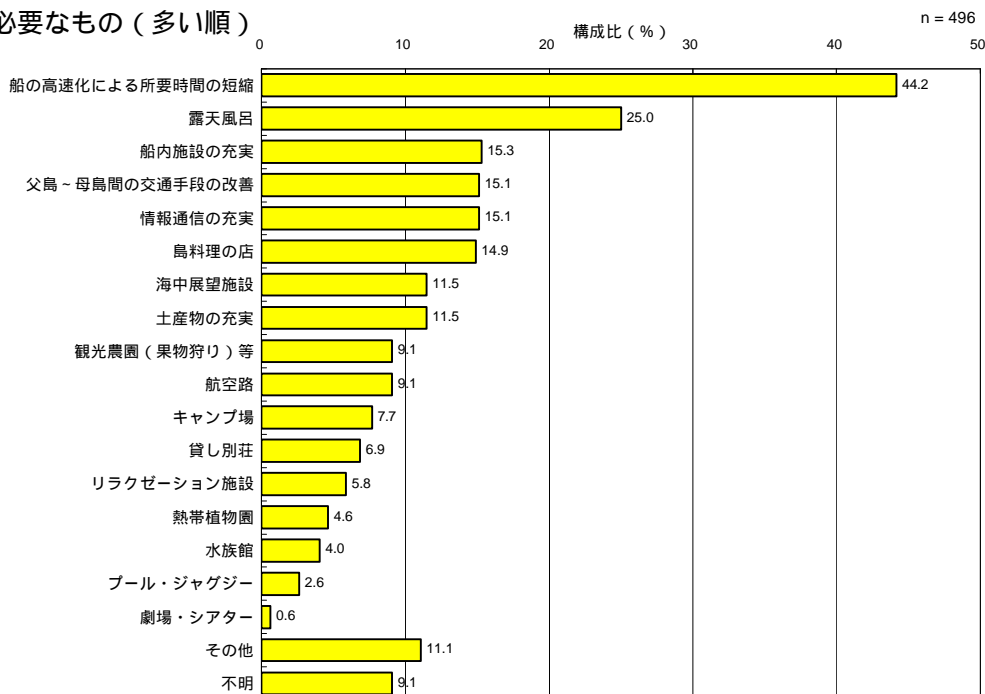
(8) 小笠原に必要なもの (MA)

小笠原に必要なと思うものは「船の高速化による所要時間の短縮」が44.2%と最も多く、そのほか来島手段の航路に関する項目が上位にあがる。

航路に関する項目以外では「露天風呂」「情報通信の充実」などが望まれている。

男性は来島手段の航路に関する項目が、女性は「露天風呂」をはじめ島内の施設・設備の整備に関する項目が高い傾向。

小笠原に必要なもの（多い順）



(9) 改善を要すること (FA)

改善を要すると思うことは、「このまま変わらずに」「自然環境の保護」「これ以上開発しない」といった手を加えない方が多いという意見が多い。

そのほか、航路に関する要望、情報関連の要望、店舗に関する要望が多い。

改善を要すること (記入者 245 人)

母数 = 496 記入者 = 245

改善点	件数
このまま変わらずに	30
自然環境の保護	29
船の所要時間の短縮	12
これ以上開発しない	8
ドコモ以外の携帯も使えると良い	8
船の増便	8
お店の閉店時間が早すぎる	7
医療機関の充実	7
道路の整備	7
コンビニが欲しい	6
海辺にシャワーや足洗い場	6
インターネットの普及	5
ゴミが落ちている	5
携帯電話が使えるように	5
航空路の整備	5
キャンプ場をつくる	4
観光地化しない	4
空港はいらない	4
船室の狭さ	4
物価が高い	4
遊歩道の整備	4
海辺にトイレ	3
交通が不便	3
商品の充実	3
清掃の徹底	3
船の料金が高すぎる	3
島内交通の整備	3
お店が少ない	2
カードが使えない	2
ガソリン代が高い	2
ゴミの回収を徹底	2
バスの増便	2
レンタカー、レンタサイクルの充実	2
観光客にゴミを持ち帰らせる	2
金融機関の利用時間が短い	2
大きな銭湯、風呂	2
土産をもっと充実してほしい	2
1人で泊まれる宿	1
AMラジオが聴けたらよい	1
Hot Pointをつくってほしい	1
本屋がなかった	1
イルカ見物のマナーが悪い	1
カーフェリーは就航させない	1
ガイド料金が高額	1
キャンプ場はつくらない方がよい	1
ゴミ箱の設置	1
ゴミ問題	1
これ以上コソコソ道路をつくらない	1
シュノーケリングの講習スクール	1
スーパーのレジが古い	1
着替場	1
ダイビング料が高い	1
父島の野山羊	1
フェリー内の施設の充実	1
料理の充実	1
マイクロバスの運行	1
別荘地の開発	1

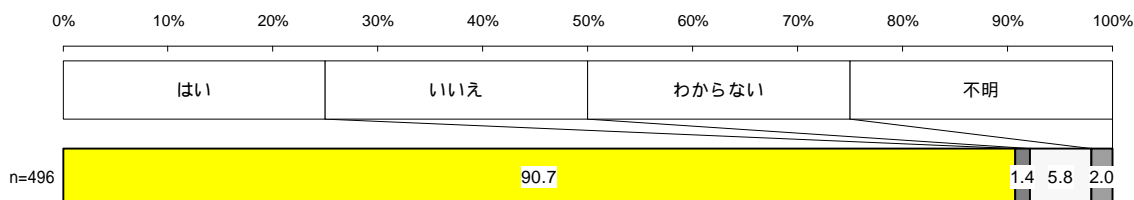
改善点	件数
やってはいけないが多すぎる	1
リゾート的發展	1
レンタカー料金を安く	1
安くて島独特の食事が出来る所	1
料理	1
港の整備	1
観光サービスの増進	1
観光バス希望	1
観光客馴れしないで欲しい	1
母島の移動手段	1
銀行が必要	1
銀行で法人が使えない	1
建築物と自然環境の調和	1
島内禁煙	1
屋根付きのダイビング用具の干し場が欲しい	1
高齢者でも楽しめる施設(温泉など)	1
高齢者への対応が必要	1
鮫対策の充実を	1
宿泊施設	1
宿泊施設の近代化	1
諸島全体を考慮した観光ルートの確立	1
諸島内での経済活性化	1
小笠原のお土産の定番のようなものがあれば良い	1
賞味期限切れ食品が多すぎる	1
情報	1
水道水	1
戦跡の維持、保存への取り組み	1
素足で入れる海水浴場が少ない浜を砂にすると良い	1
総合文化センターのような物が必要	1
村営バスの増便	1
団体旅行者の入島規制	1
ダイビングやクジラウォッチングだけではなくと言うことをPR	1
中心地に施設が固まり不自然でいかにも観光地のイメージ	1
町中にもっと音楽を流しても良いと思う	1
町並み等を統一して外国のような雰囲気を出せば魅力が増える	1
長期展望を持った開発	1
天候が悪くても楽しめるような施設	1
店が立派になり都内と余り変わらず島の雰囲気が薄れていくこと	1
島産でないおみやげは置かない	1
固有種の鳥の増殖を一般の人でも観察できる環境整備	1
島民の交通マナーが悪い	1
東京からのアクセスの悪さ	1
道路はもうつくらず、自然を生かした観光に力を入れる	1
特色のある島料理	1
入植移入を簡素化し受け入れ拡大による人口増	1
飛行場、ゴルフ場はつくらないでほしい	1
ツアーの申し込みが事前にわかりにくい	1
モクマウオなどの外来種を少し減らして欲しい	1
舗装道路はこれ以上入らないと思う	1
母島でのツアーを増やして欲しい	1
近距離化により食卓に野菜を加えて欲しい	1
母島の粗大ゴミの改善	1
母島は遊歩道がすばらしいので車道は造らない方がよい	1
いつも工事して、だんだん海が濁ってきている	1
一部島民の自然に対する意識の低さ	1
ライトの誘導灯が小港海岸の夜の景観を損なっている	1
総計	286

(10) 小笠原への再訪意向 (SA)

再訪意向

9割を超える人が再訪意向を持っている。

小笠原への再訪意向



その理由

もうこない、わからないと思った理由は「来島に時間がかかる」からが多い。

その理由

母数 = 496 記入者 = 378

はいの理由 (母数 = 450)

理由	件数
すばらしい自然、豊かな自然	86
海がきれい、すばらしい	77
行けなかったところがある、周りきれいでない	38
イルカが好き、見たい、会いたい	32
のんびり、ゆったりできる	32
クジラが好き、見たい、会いたい	25
住民が親切、人がよい	24
ダイビングが楽しい、最適	20
楽しかったから	12
良かった、満足したから	12
雰囲気がい	11
青い空	8
きれいな星空	7
風景	6
気候がよい、暖かい	5
都会での生活を忘れられる	5
ゆっくりしたいから	4
好きだから	4
釣りをしにまた来たい	4
魅力ある島	4
もう少しのんびり滞在したい	3
リラックス出来た	3
人が少ないから	3
知り合い、友人がいるから	3
島の人にまた会いたい	3
良い場所	3
いつか2航海以上にトライしたい	2
また癒されに来ます	2
気に入った	2
固有動植物の観察・撮影	2
食事が美味しい	2
他では体験できないから	2
動植物が魅力	2
本土から隔離された環境	2
いろいろと考えないですむ	1
スケールの大きさ	1
すてきなところ	1
ツアーの自由度	1
愛しているから	1
違う季節にまた来てみたい	1
過ごしやすい	1
懐かしい場所	1
海中散歩をしたい	1

いいえの理由 (母数 = 7)

理由	件数
時間がかかりすぎる	3
イルカにあえなかった	1
気候が暑すぎる	1
船でしか行けない	1
船賃が高い	1
総計	7

理由	件数
海鳥の観察	1
開放されるような感じ	1
感動した	1
観光地化されていないから	1
空気がきれい	1
恒例になっている	1
高速船が就航すればより身近になる	1
今回得た情報を活かしてもっと深く母島の魅力に触れたい	1
今度はマリネジャーを楽しみたい	1
今度はもっとのんびりと何日も海で遊んでいたい	1
仕事で来たが仕事以外でも来ようと思う	1
時間に拘束されない	1
治安がよい	1
自然を保護しようとする姿勢	1
自分に必要な時間を過ごせる	1
宿が良い	1
初日にけがをして海に入れなかったから	1
将来永住したい	1
植物を見たい	1
色々考えられる所	1
新鮮な気持ちになれる	1
人生が嫌になったときに来たいと思った	1
精神的にとてもあたたかい	1
静けさ	1
船酔いで体調がずたずたになってしまった	1
沢山のひとしゃべって楽しかったから	1
地元っぽく感じる	1
珍しい島	1
島の人たちが好きだから	1
島の人について知りたい	1
日常を脱することが出来る	1
白い砂浜	1
美しい夕日	1
保養地として魅力的	1
訪れたいというより居続けたい	1
盆踊りが大好き	1
癒される	1
友人に紹介したい	1
来たいから	1
緑の山	1
歴史・文化を勉強したい	1
総計	500

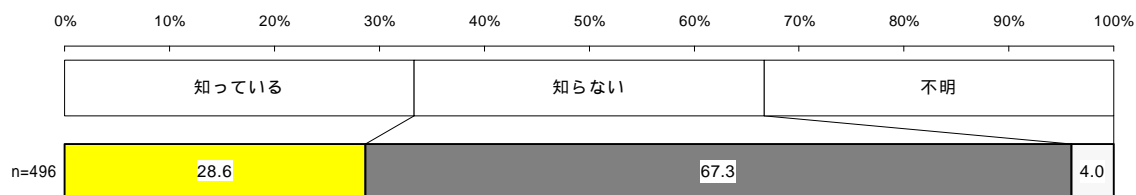
わからないの理由 (母数 = 29)

理由	件数
船の時間が長すぎる	6
お金がかかりすぎる	2
車がないと移動が難しい	2
遠いので日程調整が難しい	1
見る物が少ない	1
商売がなさすぎ	1
東京からの交通手段が限られている	1
飛行機でならまた来たい	1
時間が経過したら、また来島希望する気持ちになるかも	1
総計	16

(11) エコ・ツーリズム協定締結の認知度 (SA)

協定の認知度は「知っている」が28.6%。

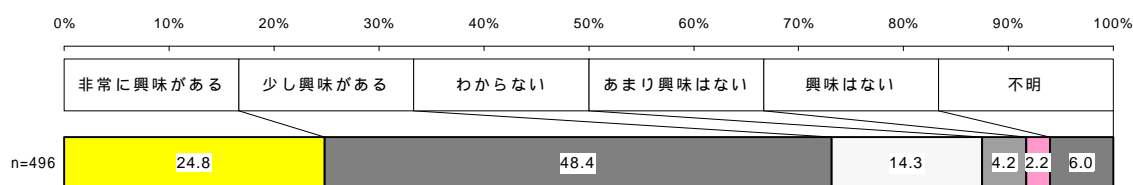
協定締結の認知度



(12) エコ・ツーリズムへの関心 (SA)

エコ・ツーリズムへの関心は「非常に興味がある」が24.8%となっており、「少し興味がある」とあわせると約3/4近くが関心を持つ。

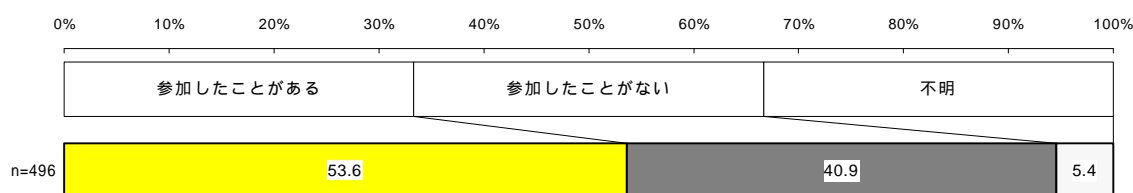
エコ・ツーリズムへの関心



(13) 小笠原でのガイド付きツアーへの参加有無 (SA)

小笠原でのガイド付きツアーへは半数以上の人に参加経験を持つ。
ガイド付きツアーは男性より女性の方が参加経験を持つ人が多い。

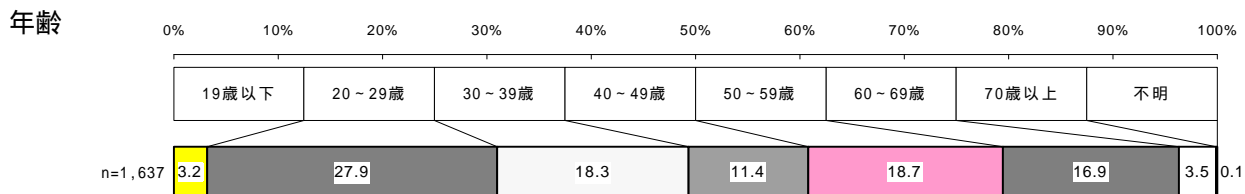
ガイド付きツアーへの参加有無



調査 離島来島者意識調査結果の主なもの

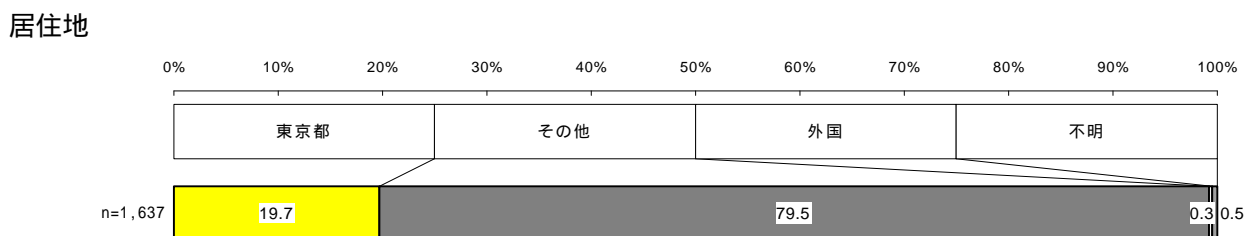
(1) 年齢 (SA)

回答者の年齢は20歳代が最も多く3割近くを占めるが、30歳代～60歳代の各年代もそれぞれ1～2割程度。



(2) 居住地 (SA)

回答者の居住地は「東京都」が19.7%、「その他」が75.5%で全国各地から来訪。
沖縄本島は他の離島に比べて「東京都」が多く、佐渡島は「その他」が多い。



〔「その他地域」の内訳〕

母数 = 1302 記入者 = 1300

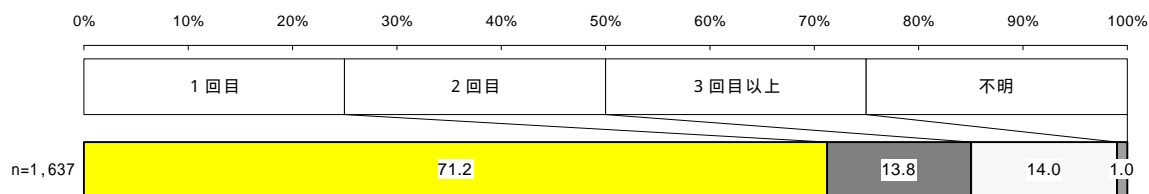
道府県名	件数	道府県名	件数
大阪	138	滋賀	17
神奈川	124	岡山	16
愛知	102	岐阜	16
埼玉	97	三重	16
千葉	72	熊本	15
宮城	63	広島	15
北海道	62	奈良	15
兵庫	55	山口	13
新潟	50	富山	12
長野	33	石川	11
京都	32	青森	9
福岡	30	福島	7
茨城	26	福井	6
岩手	26	大分	5
愛媛	24	香川	4
沖縄	24	高知	4
秋田	24	佐賀	4
栃木	24	長崎	3
鹿児島	21	和歌山	3
静岡	21	徳島	2
山形	20	山梨	1
群馬	19	鳥取	1
宮崎	17	島根	1
		総計	1300

地域名	件数
関東（東京除く）	362
近畿	260
北海道・東北	211
東海	155
九州・沖縄	119
信越・北陸	113
中国	46
四国	34
総計	1300

(3) 来訪経験 (SA)

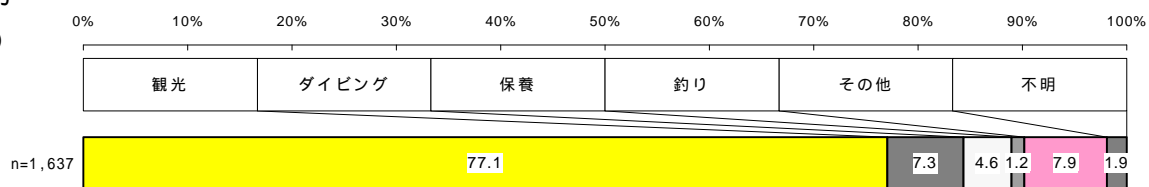
来訪経験は「1回目」が約7割。
 沖縄本島はリピーターが約6割。
 男性の方がリピート率が高い。

来訪経験



(4) 来島の主な目的 (SA)

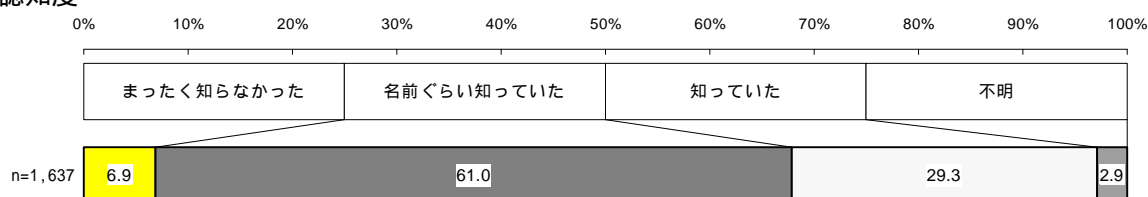
来島の主な目的は「観光」が77.1%と8割近い。
 どの離島においても「観光」が最も多いが、西表島、沖縄本島では「ダイビング」が2割を占める。
 30歳代は他の年代に比べ「ダイビング」が多い。

 主な目的
 (多い順)


(5) 小笠原の認知度 (SA)

小笠原を知っていた人は29.3%と約3割。一方、「まったく知らなかった」は6.9%。
 30歳代、40歳代、50歳代の認知度が高く、若年層の認知度が低い傾向。
 主な目的が「ダイビング」の人は小笠原を知っていた人が52.1%と半数以上を占め、認知度が高い。

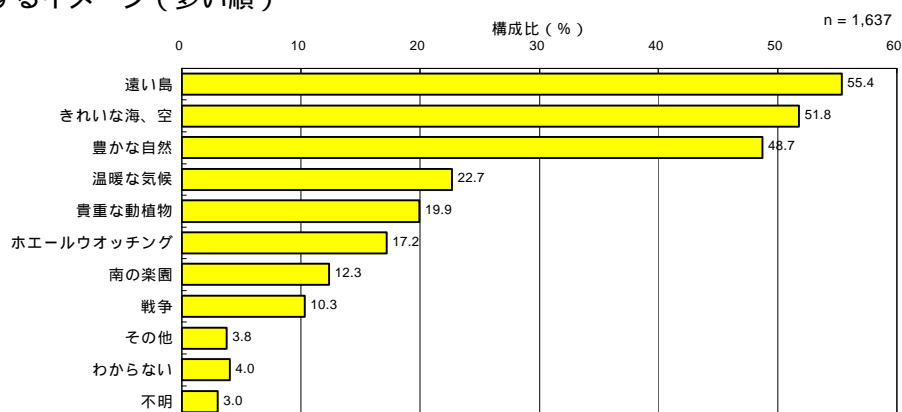
小笠原の認知度



(6) 小笠原に対するイメージ (MA)

小笠原に対するイメージは「遠い島」「きれいな海、空」「豊かな自然」。
 小笠原を知っている人は「きれいな海、空」のイメージが最も多く、あまり全く知らない人は「遠い島」のイメージが最も多い。

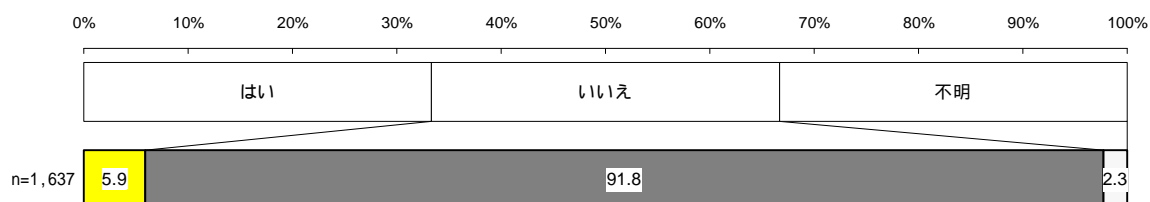
小笠原に対するイメージ (多い順)



(7) 小笠原への来訪経験 (SA)

小笠原への来訪経験を持つ人は 5.9% であり、9 割以上が行ったことがない。

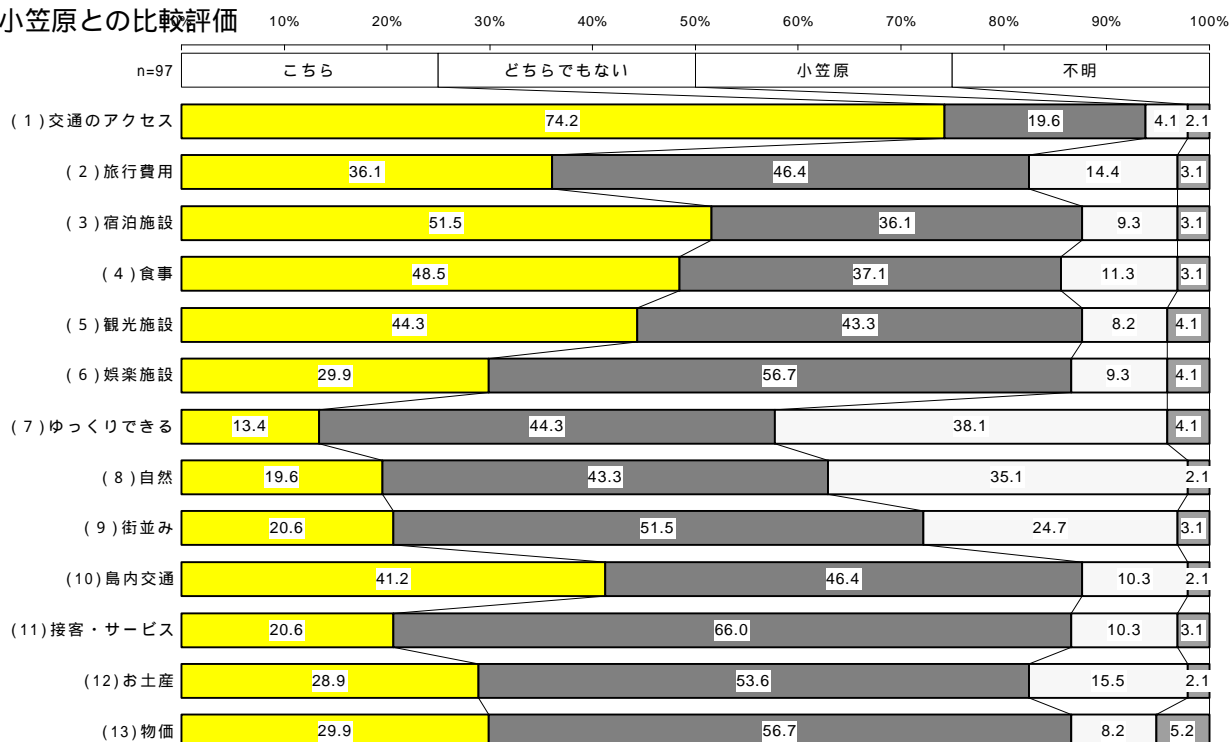
小笠原への来訪経験



(8) 当該離島と小笠原との比較評価 (SA)

当該離島と小笠原を比較すると「ゆっくりできる」「自然」「街並み」は小笠原の方が評価が高い。一方、「交通アクセス」「宿泊施設」「食事」「観光施設」「島内交通」などの項目は小笠原の方が評価が低い。

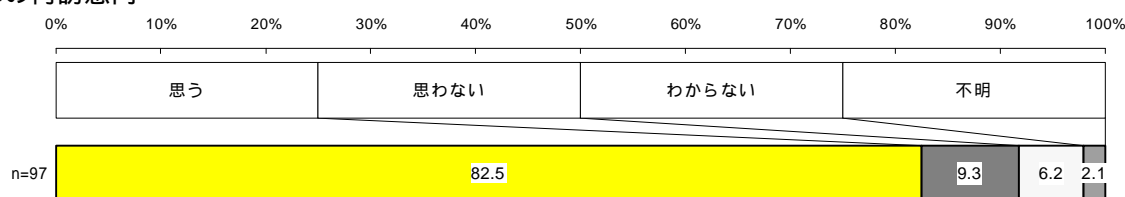
小笠原との比較評価



(9) 小笠原への再訪意向 (SA)

小笠原への再訪意向を8割以上の方が持つ。
他の離島においてもリピーターの方が小笠原への再訪意向が高い。

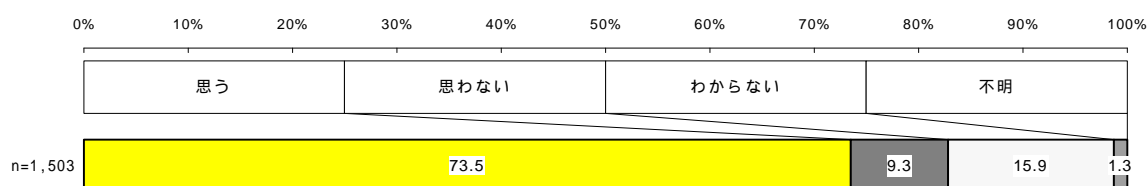
小笠原への再訪意向



(10) 小笠原への来島意向 (SA)

小笠原へ「行ってみたいと思う」人は73.5%。

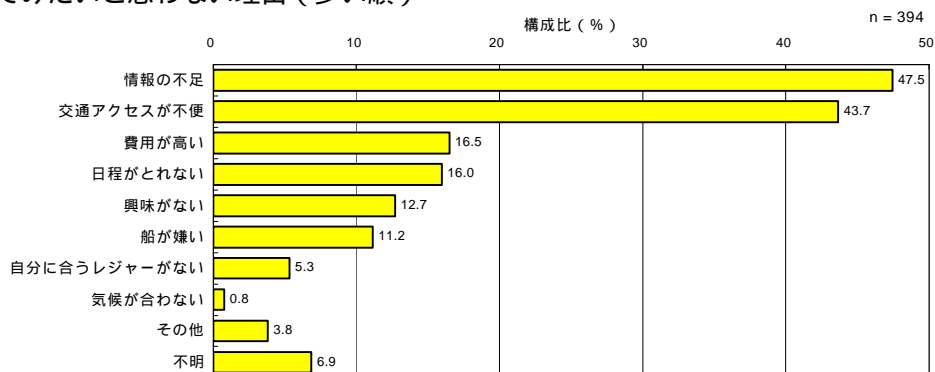
小笠原への来島意向



(11) 小笠原に行ってみたくはない理由 (MA)

行ってみたくはない理由は「情報の不足」「交通アクセスが不便」の2項目が突出。

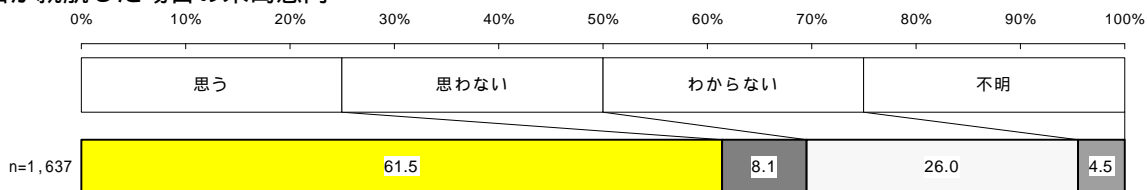
小笠原に行ってみたくはない理由 (多い順)



(12) 超高速船が就航した場合の小笠原への来島意向 (SA)

小笠原へ超高速船が就航した場合、約6割の人が来島意向を持つ。
超高速船が就航した場合、年齢が高くなるほど来島意向を持つ人が増加する傾向。

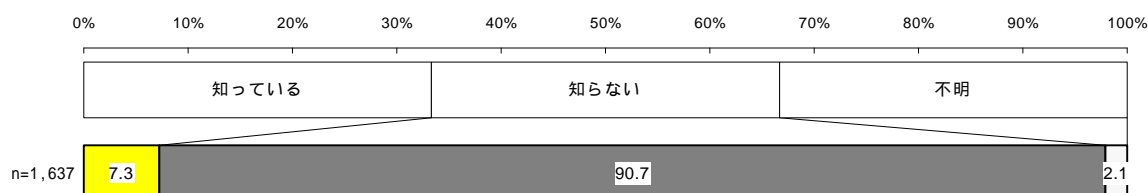
超高速船が就航した場合の来島意向



(13) エコ・ツーリズム協定締結の認知度 (SA)

協定の認知度は「知らない」が90.7%と9割を超える。
東京都居住者及び小笠原来島経験者の方が協定の認知度が高い傾向。

協定締結の認知度

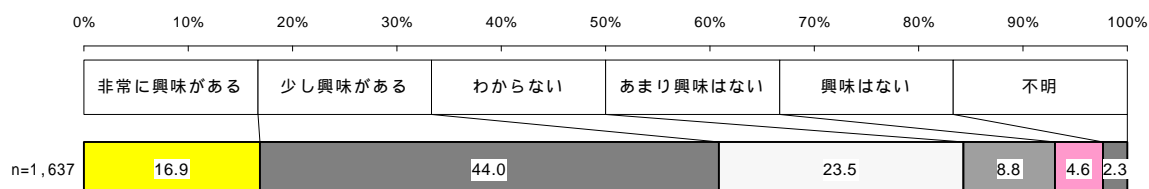


(14) エコ・ツーリズムへの関心 (SA)

エコ・ツーリズムへの関心は「非常に興味がある」が16.9%となっており、「少し興味がある」とあわせると約6割の人が関心を持つ。

「西表島」「屋久島」では関心を持つ人が7割を超えているが、「沖縄本島」では関心を持つ人は4割以下。

エコ・ツーリズムへの関心



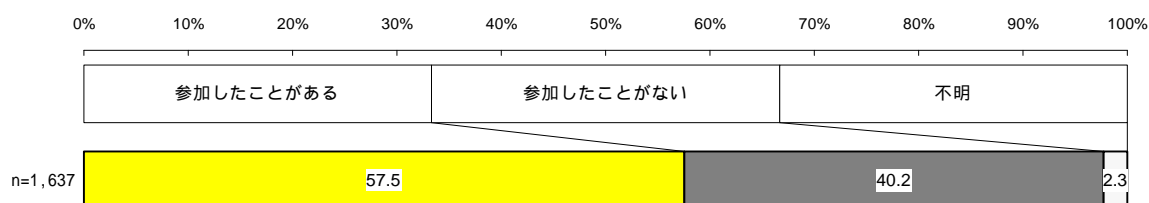
(15) ガイド付きツアーへの参加有無 (SA)

ガイド付きツアーへは6割近い人が参加経験を持つ。

年齢が高くなるほどガイド付きツアーの参加経験を持つ人が多くなる傾向。

男性より女性の方がガイド付きツアーへの参加経験を持つ人が多い。

ガイド付きツアーへの参加有無



プレゼント付きアンケート

小笠原諸島に関する意識調査 < 小笠原諸島来島者 > のお願い
観光でご来島の方のみ、お願いします。

この調査は、今後の小笠原諸島の振興開発を進めていくうえで、小笠原諸島においでの皆様のご貴重なご意見を参考にさせていただくために実施するものです。

皆様のご協力をお願いします。

なお、アンケートにお答えいただいた方には、粗品を進呈いたしますが、数に限りがございますので、お早めのご提出をお願いします。

粗品：
小笠原の自然海塩
40gをさしあげます



東京都総務局行政部振興企画課 小笠原振興係
電話 03-5388-2446

< アンケートの回収に関するお問い合わせ先 >

株式会社 アール・ピー・アイ
電話 03-5689-2271 (担当: 高瀬・坂井)

アンケート調査票の回収日時・場所について

父島 = 9月1~24日のおがさわら丸出航日の午後1時~2時の間、船客待合室で行います。

(24日運休の場合は、出航変更日)

母島 = 9月8日(日)を除く9月1~27日の毎日、船客待合所・母島観光協会で行います。

記入方法 該当する回答の番号に を付けて下さい。(具体的に記入いただく項目もあります)

アンケート票 < 小笠原諸島来島者用 >

基本事項

問1 あなたの年齢は次のどれにあたりますか。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 19歳以下 | 2. 20~29歳 | 3. 30~39歳 | 4. 40~49歳 |
| 5. 50~59歳 | 6. 60~69歳 | 7. 70歳以上 | |

問2 あなたの性別はどちらですか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたの職業は何ですか。

- | | | | | |
|--------------|--------|------------|-------|---------|
| 1. 会社員 | 2. 自営業 | 3. 公務員 | 4. 学生 | 5. 専業主婦 |
| 6. アルバイト・パート | 7. 無職 | 8. その他 () | | |

問4 どちらから来られましたか。(東京都以外の方は、道府県名を、海外の方は国名をお答えください。)

- | | | |
|--------|------------|-----------|
| 1. 東京都 | 2. () 道府県 | 3. 外国 () |
|--------|------------|-----------|

小笠原諸島への訪問目的について

問5 今回は、何人で来られましたか。

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人以上 |
|-------|-------|-------|---------|

問6 こちらを訪れたのは、何回目ですか。

回目

問7 小笠原に来られた主な目的は何ですか。(一つだけ を付けてください。)

1. 観光 2. ダイビング 3. 釣り 4. 保養 5. その他 ()

問8 小笠原を旅行先と決定した理由は、何ですか。(複数回答可)

1. 目的にあった旅行先だから 2. まだ訪れたことがなかったから
3. 以前訪れてよかったから 4. 同行者に誘われたから
5. 友人や旅行社から紹介されたから 6. メディアの宣伝、紹介記事
7. 親族、友人等知人がいるから 8. その他(具体的に:)

問9 小笠原への旅行を計画する際、他の旅行先も考えましたか。(一つだけ)

1. 考えなかった 2. 他の旅行先も考えた(検討した旅行先)

小笠原諸島の魅力について

問10 あなたにとって小笠原の魅力は何ですか。(複数回答可)

1. 小笠原にしか見られない動植物 2. 青く澄んだ海
3. 野趣に富んだ野山 4. イルカ・クジラ 5. 温暖な気候
6. 長い船旅 7. 本土から隔絶した環境 8. 都会の雑踏を忘れられること
9. 小笠原固有の文化 10. 小笠原の特産物や郷土料理
11. 島の雰囲気 12. その他()

問11 小笠原諸島を訪れるにあたって心配したことや、実際訪れて困ったことは何ですか。それぞれ次の選択肢中から、3つまで選んで番号をご記入ください。

【選択肢】

1. 島に関する情報 2. 航路運賃 3. 船の便数 4. 宿泊施設
5. 食べ物・食事 6. 観光スポット 7. 医療機関 8. 島内の移動手段
9. 銀行・金融機関 10. 飲食店 11. 土産物店 12. 日用品の物販店
13. 気候 14. 衣服 15. その他() 16. 特にない

(1)訪れる前心配したこと (2)訪れて困ったこと

問12 今回、小笠原諸島の父島と母島に泊まられましたか。(一つだけ)

1. 父島だけ 2. 母島だけ 3. 父島と母島どちらも

問13 父島と母島の印象について良かったと思うこと、悪かったと思うことを、それぞれ次の選択肢中から、3つまで選んで番号をご記入ください。宿泊した島についてのみご回答下さい(父島・母島どちらも宿泊された方はそれぞれについてお答え下さい)。

【選択肢】

1. 自然環境 2. 海辺 3. 宿泊施設 4. 街並み 5. 食べ物
6. 道路 7. 港湾施設 8. 遊歩道 9. 観光施設 10. 島内交通
11. 島民の接し方 12. 特にない

(1)良かったと思うこと 父島 母島

(2)悪かったと思うこと 父島 母島

問 14 小笠原諸島の宿泊施設の満足度について伺います。それぞれについて最も近いと思われるところに をつけてください。

(1) 宿泊施設の設備についてどう思われますか。

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(2) 宿泊施設の食事についてどう思われますか。

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(3) 宿泊施設の接客についてどう思われますか。

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(4) 宿泊施設のサービスについてどう思われますか。

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(5) 宿泊施設の料金についてどう思われますか。

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(6) 小笠原諸島の宿泊施設で、特に不満を感じた点はどんなことですか。具体的にご記入下さい。

問 15 小笠原を訪れてみて、楽しく過ごせて魅力ある島にするために必要と思うものは何ですか。（複数回答可）

- | | | |
|--------------------|----------------|-----------|
| 1. 船の高速化による所要時間の短縮 | 2. 船内施設の充実 | |
| 3. 父島～母島間の交通手段の改善 | 4. 熱帯植物園 | |
| 5. 水族館 | 6. 観光農園（果物狩り）等 | 7. 海中展望施設 |
| 8. リラクゼーション施設 | 9. 航空路 | 10. 露天風呂 |
| 11. プール・ジャグジー | 12. 劇場・シアター | 13. 貸し別荘 |
| 14. 情報通信の充実 | 15. 土産物の充実 | 16. 島料理の店 |
| 17. キャンプ場 | 18. その他（具体的に |) |

問 16 また、小笠原諸島で改善を要すると思うことはどういうことですか。具体的にご記入ください。

問 17 小笠原をまた訪れたいと思いますか。（一つだけ）

1. はい 2. いいえ 3. わからない

問 17-(2) その理由について、具体的にご記入してください。

エコ・ツーリズムに関する事項

続いて、「小笠原諸島におけるエコ・ツーリズム」について説明します。

東京都では、小笠原諸島において、世界的にも貴重な自然を将来にわたって維持するとともに、観光資源として積極的に利活用し、地域経済の発展に貢献することを目的にした「小笠原諸島におけるエコツーリズム」と呼ぶ新たな事業を展開していくことにしました。

そのため、小笠原村や様々な団体とも連携・協力して、今後も観光客の皆様にとって魅力ある小笠原を提供していく予定です。

具体的な事業の1つとしては、平成15年度から、南島と母島石門地区を対象に東京都の認定した自然ガイドが同行して、一定のルールのもとに自然の保護を図りつつ、小笠原の自然を楽しんでいただくことを目的とした制度を実施する予定です。

問18 平成14年7月に小笠原村と東京都は、エコ・ツーリズムの実施に関する協定を結びました。あなたはこのことを知っていましたか。(一つだけ)

1. 知っている 2. 知らない

問19 「小笠原諸島におけるエコ・ツーリズム」のような取組について、あなたは関心がありますか。(一つだけ)

1. 非常に興味がある 2. 少し興味がある 3. わからない 4. あまり興味はない
5. 興味はない

問20 あなたは小笠原でガイド付きツアーに参加したことがありますか。(一つだけ)

1. 参加したことがある 2. 参加したことがない



[問21へ](#)



[問23へお進みください](#)

問21 どんなガイド付きツアーに参加したことがありますか(複数回答可)

1. 南島上陸 2. 堺ヶ岳入山 3. ホエールウォッチング
4. ドルフィンスイム 5. フィールドツアー 6. ジングルツアー 7. ナイトツアー
8. シーカヤック 9. 戦跡ツアー 10. その他()

問22 ガイド付きツアーはどうでしたか。(一つだけ)

1. 満足 2. まあまあ満足 3. ふつう 4. やや不満 5. 不満

問23 あなたはガイド付きツアーに参加してみたいと思っていますか。(一つだけ)

1. 参加してみたい 2. 参加してみたいとは思わない

問24 最後に将来小笠原に住みたいと思いますか。(一つだけ)

1. 是非住んでみたい 2. 条件が整えば住んでみたい 3. 住みたくない
4. わからない 5. その他()

その他、小笠原に関することについて何でも結構ですので、自由に意見をご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

プレゼント付きアンケート

小笠原諸島に関する意識調査〈離島訪問者〉のお願い

観光でご来島の方のみ、お願いします。

この調査は、東京都に属する小笠原諸島の振興を今後進めていくうえで、他の島に観光においでの皆様のご意見を参考にさせていただくために東京都が実施しているものです。皆様のご協力をお願いします。

なお、アンケートにお答えいただいた方には、粗品を進呈いたしますが、数に限りがございますので、お早めのご提出をお願いします。

粗品：
小笠原の自然海塩
40gをさしあげます



東京都総務局行政部振興企画課 小笠原振興係
電話 03-5388-2446

〈アンケートの回収に関するお問い合わせ先〉
株式会社 アール・ピー・アイ
電話 03-5689-2271 (担当：高瀬・坂井)

ご回答いただいたアンケート票は、宿泊施設のフロントへお渡し下さい。

記入方法 該当する回答の番号に を付けて下さい。(具体的に記入いただく項目もあります)

アンケート票〈離島訪問者用〉

基本事項

問1 あなたの年齢は次のどれにあたりますか。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 19歳以下 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70歳以上 | |

問2 あなたの性別はどちらですか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたの職業は何ですか。

- | | | | | |
|--------------|--------|------------|-------|---------|
| 1. 会社員 | 2. 自営業 | 3. 公務員 | 4. 学生 | 5. 専業主婦 |
| 6. アルバイト・パート | 7. 無職 | 8. その他 () | | |

問4 どちらから来られましたか。(東京都以外の方は、道府県名を、海外の方は国名をお答えください。)

- | | | |
|--------|-----------|-----------|
| 1. 東京都 | 2. ()道府県 | 3. 外国 () |
|--------|-----------|-----------|

こちらの島への訪問目的について

問5 今回は、何人で来られましたか。

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人以上 |
|-------|-------|-------|---------|

問6 こちらを訪れたのは、今回で何回目ですか。

回目

問7 こちらの島に来られた主な目的は何ですか。(一つだけ)

1. 観光 2. ダイビング 3. 釣り 4. 保養 5. その他()

問8 こちらへの旅行を計画する際、他の旅行先も考えましたか。(一つだけ)

1. 考えなかった 2. 他の旅行先も考えた(検討した旅行先)

問9 こちらを旅行先と決定した理由は、何ですか。(複数回答可)

1. 目的にあった旅行先だから 2. まだ訪れたことがなかったから
3. 以前訪れてよかったから 4. 同行者に誘われたから
5. 友人や旅行社から紹介されたから 6. メディアの宣伝、紹介記事
7. 親族、友人等知人がいるから 8. その他(具体的に:)

問10 あなたが旅行先を決める際のポイントは何ですか。(複数回答可)

1. 交通手段 2. 旅行費用 3. 食事
4. 宿泊施設 5. 観光施設 6. 自然
7. 貴重な動植物 8. 温泉 9. 名産品、特産品
10. 離島 11. のんびりできること 12. 家族の意向
13. 友人等の誘い 14. その他()

小笠原に関する事項

小笠原諸島の概要について説明いたします。

小笠原諸島は、日本の南の太平洋上に散在する約103の島々の総称であり、聳島列島、父島列島、母島列島、硫黄列島の4つの列島と、西之島等3つの独立島からなっています。

その大半の地域は、国立公園に指定されており、気候は、亜熱帯に属する海洋性の温暖な気候となっています。

また、島の成立後一度も大陸と陸続きとなったことがないため、生物は、独特の進化を遂げ世界的にも学術的にも貴重な動植物が生息しています。

小笠原諸島の中心である父島は、東京から約1,000km離れており、母島は、父島の南方約50kmに位置しています。

交通アクセスは、東京からおおむね6日に1便が運航し、東京～父島間を約25時間30分で結んでいます。また、父島～母島間は、おおむね週5便、所要時間2時間で運航しています。

小笠原は、亜熱帯の豊かな自然に恵まれた島と海を有することから、これらを観光資源として、年間を通して楽しめるマリンスポーツを求めて多くの人々が訪れています。その他、学術的にも貴重な動植物の研究に訪れる方や、最近では地球環境の保護や自然志向の高まりを背景に、ホエールウォッチング等の積極的な取り組みにより集客を伸ばしていることから、年間来島者に大きな落ち込みもなく、25,000人程度で推移しています。

平成17年度には、テクノスーパーライナー(超高速船)の就航が予定され、東京～父島間をおよそ16時間で結び、観光シーズンには、おおむね3日に1便運航されることとなっており、来島者の増加が期待されています。

今後、小笠原諸島は、豊かな自然の保護と観光の両立をはかるために、エコ・ツーリズムの実現に向けて、取り組んでいくこととなっています。

小笠原諸島の概要を踏まえ、お伺いいたします。

問 11 小笠原については、どれくらい知っていましたか。(一つだけ)

1. まったく知らなかった 2. 名前くらい知っていた 3. 知っていた

問 12 小笠原に対するイメージについて、どう思いますか。(複数回答可)

1. 遠い島 2. 豊かな自然 3. 貴重な動植物 4. 温暖な気候
5. きれいな海、空 6. 戦争 7. ホエールウォッチング 8. 南の楽園
9. その他() 10. わからない

問 13 小笠原へ行ったことがありますか。(一つだけ)

1. はい 2. いいえ

↓
問 14 へ

↓
問 16 へお進みください

問 14 次に掲げる項目について、こちらの島と小笠原を比べて、^{まさ}勝っていると思われる方をお付けください。(それぞれ一つ)

- | | | | |
|-------------|-------|-----------|-------|
| (1)交通のアクセス | 1.こちら | 2.どちらでもない | 3.小笠原 |
| (2)旅行費用 | 1.こちら | 2.どちらでもない | 3.小笠原 |
| (3)宿泊施設 | 1.こちら | 2.どちらでもない | 3.小笠原 |
| (4)食事 | 1.こちら | 2.どちらでもない | 3.小笠原 |
| (5)観光施設 | 1.こちら | 2.どちらでもない | 3.小笠原 |
| (6)娯楽施設 | 1.こちら | 2.どちらでもない | 3.小笠原 |
| (7)ゆっくりできる | 1.こちら | 2.どちらでもない | 3.小笠原 |
| (8)自然 | 1.こちら | 2.どちらでもない | 3.小笠原 |
| (9)街並み | 1.こちら | 2.どちらでもない | 3.小笠原 |
| (10)島内交通 | 1.こちら | 2.どちらでもない | 3.小笠原 |
| (11)接客・サービス | 1.こちら | 2.どちらでもない | 3.小笠原 |
| (12)お土産 | 1.こちら | 2.どちらでもない | 3.小笠原 |
| (13)物価 | 1.こちら | 2.どちらでもない | 3.小笠原 |

問 15 また、小笠原へ行ってみたいと思いますか。(一つだけ)

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

↓
問 18 へ

↓
問 17 へお進みください

問 16 小笠原へ行ってみたいと思いますか。(一つだけ)

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

↓
問 18 へ

↓
問 17 へお進みください

問 17 行ってみたいと思わない理由又はわからない理由は、何ですか。（複数回答可）

- | | | |
|----------|-----------------|--------------------------------|
| 1. 興味がない | 2. 情報の不足 | 3. 交通アクセスが不便 |
| 4. 費用が高い | 5. 日程がとれない | 6. 気候が合わない |
| 7. 船が嫌い | 8. 自分に合うレジャーがない | 9. その他（ ） |

問 18 テクノスーパーライナー（超高速船）が就航した場合、小笠原に行ってみたく思いますか。（一つだけ）

- | | | |
|-------|---------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. わからない |
|-------|---------|----------|

エコ・ツーリズムに関する事項

続いて、「小笠原諸島におけるエコ・ツーリズム」について説明します。

東京都では、小笠原諸島において、世界的にも貴重な自然を将来にわたって維持するとともに、観光資源として積極的に利活用し、地域経済の発展に貢献することを目的とした「小笠原諸島におけるエコツーリズム」と呼ぶ新たな事業を展開していくことにしました。

そのため、小笠原村や様々な団体とも連携・協力して、今後も観光客の皆様にとって魅力ある小笠原を提供していく予定です。

具体的な事業の1つとしては、平成15年度から、南島と母島石門地区を対象に東京都の認定した自然ガイドが同行して、一定のルールのもとに自然の保護を図りつつ、小笠原の自然を楽しんでいただくことを目的とした制度を実施する予定です。

問 19 平成14年7月に小笠原村と東京都は、エコ・ツーリズムの実施に関する協定を結びました。あなたはこのことを知っていましたか。（一つだけ）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 20 「小笠原諸島におけるエコ・ツーリズム」のような取組について、あなたは関心がありますか。（一つだけ）

- | | | | |
|-------------|------------|----------|-------------|
| 1. 非常に興味がある | 2. 少し興味がある | 3. わからない | 4. あまり興味はない |
| 5. 興味はない | | | |

問 21 あなたは今までにガイド付きツアーに参加したことがありますか。（一つだけ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 参加したことがある | 2. 参加したことがない |
|--------------|--------------|

↓
問 22 へ

↓
問 23 へお進みください

問 22 ガイド付きツアーはどうでしたか。（一つだけ）

- | | | | | |
|-------|-----------|--------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. まあまあ満足 | 3. ふつう | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|-----------|--------|---------|-------|

問 23 あなたはガイド付きツアーに参加してみたいと思っておりますか。（一つだけ）

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 参加してみたい | 2. 参加してみたいとは思わない |
|------------|------------------|

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート票は宿泊施設のフロントへお渡し下さい。